

商店街オープン、無事終了しました

商店街の空き店舗をワークショップでわいわいしながら、こんなお店があるといいねを話し合い、本当にお店を開いてしまうという「商店街オープン事業」。今年度は2店舗でチャレンジ、とりあえずワークショップの部分は終了しました。

☆商店街オープンのワークショップのあゆみ

昨年度、この事業を請け負われたコンサルさんが、先鞭をつけてくださいました。初の試みで人手も少なく、たいへんだったそうです。今年は、アドバイザー（商店街活性化の会社、建築士、中小企業診断士）の充実とファシリテーターを立てて進めました。

WS ①商店街の特徴を知る ②どんな機能が欲しい？（作業部会） ③事業プランを作ってみよう（作業部会） ④みんなの決意表明と地域へのお披露目会というステップでした。

この中の（作業部会）で、**WS** で語り合ったことを元にして具体的な話を詰めていきます。そして、店主となる人が出てきたり、それぞれの得意分野でサポートしたりする中でチームができていきました。

☆地域によって、参加者によって異なるイメージ

参加している人の属性や気持ちで本当に雰囲気ごとになることを体感しました。同じプログラムを進めていても、結果が全く異なるものになりました。

地域性とは、こういうことなのでしょう。その場所の歴史と現在関わっている人たちが創っていくものなのですね。その地域性をかたちづくっていく渦中にあることを実感できました。



☆地域の方々へのお披露目会

商店は、周囲の住民や商店街の方々を受け入れてもらうことが重要です。お店を出そう！と決めた方へのエールも込めて、チームとしてお披露目会をしました。

その後の交流会も、時間を延長するほど盛会となりました。

☆名古屋市さん、スペーシアさん、アドバイザーのみなさんと一緒にプログラムを進めていく中で、アドバイザーチームもなんとなくでき、参加されたみなさんともチームになった！という嬉しい感覚があります。チームで盛り上げていきたい！協力したい！と思いました。